

もしもの時の後見人

もしも、(何かの)事故に遭い、助けが必要な生活になったら……、年をとり介護が必要な生活になったら……。こんなことを考えたことはありませんか？

今までの社会は、家族が支えとなり、あなたに代わって、生活に必要な事柄を決め、代行してきました。しかし、現在では核家族化、さらに地域では過疎化が進み、頼れる身近にいないこ



泉衣さん 本家 弁護士



とが多くなってきています。石見地域周辺でも同様です。

そんなときに、知っておいてほしいのが「成年後見制度」です。ことわざに「遠くの親戚より近くの他人」というのがあります。自分の近くにいる人、もしものとき、自分の思いや願いをアシストしてくれる人に頼りたいとき、この制度を使ってほしいのです。私は、弁護士になってすぐ「石見成年後見センター」の会員にな

りました。後見人としての仕事だけでなく、「成年後見制度」の周知や充実にも力を入れてきました。近年は、市民後見人の養成にも取り組んでいます。

いつ、何が起こるかわからない、もしものときのために、これからの自分の生き方や家族への思い、希望を伝えておくことは大切なことだと思えます。後見人は、もしものとき、あなたの意思を尊重するように働いてくれます。

また、あなたが住んでいる地域の人が後見人になれば、お互いが支え合う地域社会ができます。そうすれば、安心して老後が迎えられると思いませんか？

安心して暮らせる地域社会を目指し、活動していきたいと思っています。

(はまだ市民総合法律事務所)